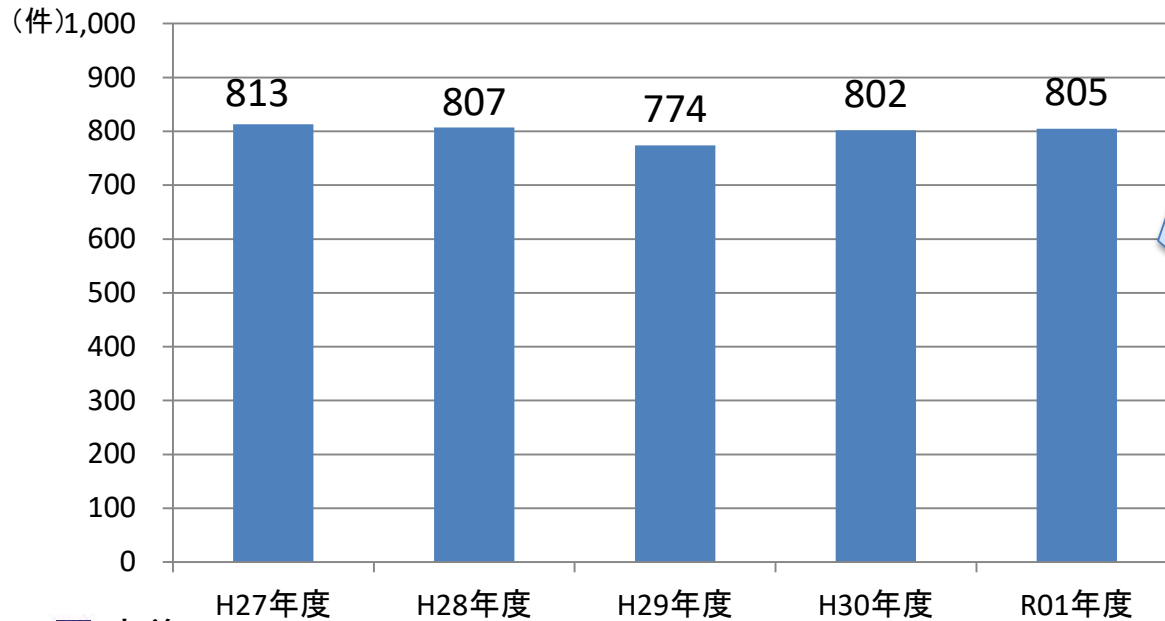


術中迅速病理組織診断件数

■ 解説: process指標

正確で迅速な病理診断は、手術中に必要な場合があり、病理診断に基づいて病巣切除の適否または切除範囲を決めます。そのため、限られた時間内に切除された標本を処理し、迅速かつ正確な診断のできる熟練病理医と設備が病院内に必要です。件数が増加するほどこれらの機能が充実していることを表しています。

■ 当院の実績



《自己点検評価》

手術件数の増加に伴い、術中迅速診断件数も増加しています。しかし、件数を増やすだけでなく、平成26年度の病理診断科標榜以降は、検体の正しい提出方法や、凍結切片による術中迅速診断の適応と限界を臨床医に周知させ、腫瘍性病変については、捺印細胞診を全例併用するようにし精度管理の向上に努めています。平成27年度から遠隔病理診断を稼働させ、東近江医療センターの術中迅速診断を受託するなど、地域医療への貢献にも努めています。

■ 定義

医科診療報酬点数表における、「N003 術中迅速病理組織標本作製 (T-M/OP)」「N003-2 術中迅速細胞診」の算定件数です。

■ 算式

レセプト算定件数

■ 令和元年度国立大学病院報告書: 100床換算; 中央値97.67、当院141.48